



高専通信

Vol. **15**
2015/12

National Institute of Technology, Toyama College



- 02 商船学科卒業証書・海事システム工学専攻修了証書授与式
- 04 学生のクラブ活動・課外活動
- 06 富山高等専門学校 創立50周年・創基110周年記念事業
- 08 高専ロボコン
- 10 高専祭—志峰祭—
- 12 ものづくり・流通の現場を体験して
- 14 企業見学で学んだこと／企業見学とキャンパス交流を終えて
- 15 教務主事からのメッセージ／学生相談室からのお知らせ
- 16 News&Topics／平成28年度入試情報

昭和53年頃の富山工業高専全景



富山工業高専開校式・第1回入学宣誓式における野路末吉初代校長(昭和39年4月18日)



富山市公会堂で開催された第1回高専祭前夜祭(昭和42年10月7日)



富山工業高専 第2回高専祭仮装行列(昭和45年10月31日)

平成27年度

商船学科
卒業証書

海事システム工学専攻
修了証書

授与式

Commencement



商船学科卒業証書授与式と 専攻科海事システム工学専攻修了証書授与式が行われました

商船学科航海コース
卒業生
田澤 静夏



商船学科で学んだ5年半

入学式の日、初めて寮に足を踏み入れたあの日から今日まで過ぎてみればあっという間の5年半でした。思えば、北斗祭やカッターレース大会、球技大会などの学校行事を通じて多くの学生と交流を深め、仲間の大切さを学びました。

長期乗船実習は厳しい日々でしたが、実りの多い1年間でもありました。悪天候の中、ずぶ濡れになりながら操船したり、船酔いと闘ったりしながら航海術を学び、各々の夢に向かって努力してきました。待ちわびていたはずの下船日でしたが、いつしか、苦楽を共にした仲間と離れたくない気持ちの方が強くなりました。

富山高等専門学校での学びは、この先社会に出てからも私たちの糧となるでしょう。このような素晴らしい経験ができたのも、教官方のお力添えと保護者の支えのお陰です。ありがとうございました。

海事システム工学
専攻修了生
上波 純一



学校での経験

学校を修了し、1カ月が経ちました。私は国土交通省の海事局に就職しました。愛媛県の今治市に配属され、そこで船舶測度官として働いています。船舶測度官とは、船舶の寸法を測り、大きさを決める仕事です。そこでは授業や1年間の練習船実習等で学んだことがとても役に立っています。

同級生の四柳君は、大阪で船舶の電気に係わる会社に就職しました。学校で身につけた知識を活かして、機関制御室コンソールの設計をしています。山本さんは、長崎県で観光船に就職しました。そこで航海士として働いています。また外国人観光客も多いので、英語を駆使しているそうです。

実際に就職し、仕事をしてみると、学校で培った経験がとても大切だと実感しました。ぜひ在校生の皆様も、楽しい学校生活を過ごし、より多くの経験を積んでください。

平成27年度卒業生・修了生

商船学科／航海コース21名、機関コース17名 海事システム工学専攻／3名

主な進路(五十音順)

商船学科

■就職先

出光興産、宇部興産海運、エスオーシーマリン、岡本製作所、川崎汽船、川崎近海汽船、栗林マリタイム、三協、商船三井、ダイソー、太洋日本汽船、東レ、日本海運、日本海洋掘削、日本通運、日本郵船、邦洋海運、北陸電工、北陸発電工事、名港海運、YKKビジネスサポート

■進学先

神戸大学海事科学部、東京海洋大学海洋工学部、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、富山高専専門学校専攻科

海事システム工学専攻

■就職先

国土交通省、寺崎電気産業、ユニバーサルワークス

学生表彰

本校表彰規程によるもの

名称	航海コース	機関コース	海事システム工学専攻
学業優秀賞	池崎 祥希	宮川 大輝	上波 純一

学会表彰(学科から学会等に推薦するもの)

名称	航海コース	機関コース	
日本航海学会奨学褒賞	福谷 龍	-	
日本船舶海洋工学会奨学褒賞	浦畑 清楓	木下 凌	
海技教育財団会長賞	田澤 静夏	山村 諒太	
全日本船舶職員協会賞	傳刀 凌太郎	寺西 透悠弥	
日本機械学会畠山賞	-	田邊 歩	
日本マリンエンジニアリング学会 優秀学生奨励賞(山下勇賞)	-	小櫃 凌太	



9月25日(金)午前10時より、射水キャンパス第2体育館において、平成27年度商船学科卒業証書授与式、専攻科海事システム工学専攻修了証書授与式が挙行されました。

石原外美校長から、航海実習用の白い制服に身を包んだ商船学科卒業生38名に卒業証書が、海事システム工学専攻修了生3名には修了証書が手渡されました。

告辞のなかで、石原校長は大学時代の恩師が贈ってくれた「物心一如」という言葉に触れ、物と心の調和をはかり、日々を誠実に生きていくことが大事であると指摘し、その上で、努力を継続し、自分自身を成長させ、富山高専の卒業生として誇りを持って、社会に資する有為な人材になってほしい、と卒業生・修了生を激励されました。

全日本船舶職員協会の及川武司専務理事からは、海事職員としての長年の経験を踏まえ、社会に出航しようとしている後輩に対して、懇切なはなむけの言葉が祝辞として贈られました。在校生代表の伊藤大樹学生会長(国際ビジネス学科3年)からの送辞を受け、池崎祥希さんが卒業生を代表して、幾多の困難が眼前に迫ろうとも、泥臭くとも必死になって、悩み苦しみつつも前に向かってあきらめずに歩み続けていくことを誓う、と力強く答辞を述べました。

授与式の後、卒業生たちから、会場の列席者への感謝を示す登壇礼(とうしょうれい)が行われました。杉本陸さんの指揮のもと、整列して「ごきげんよう」と唱和し、海事職員ならではの答礼が繰り返され、最後には制帽がいっせいに宙高く投げられました。卒業生たちは、吹奏楽部の演奏する「寮歌」の調べと拍手のなかで式場を後にし、社会へと巣立っていきました。



商船学科実習生
担任

河合 雅司



富山高専商船学科1期生との2年半を振り返って

皆さん、卒業おめでとうございます。新商船学科1期生は、1・2年生の保前先生、3年生の千葉先生の後を引き継いで、私が4・5年生の担任をさせていただきました。振り返れば、色々なことが思い起こされますが、印象に残っていることを2つ紹介させていただきます。

1つ目は、4年生のカッターレース大会の時ですが、ある女子学生が場内アナウンスを行い非常に大会を盛り上げていました。この時私は思いました。「さすが成績優秀な国際ビジネス学科の女子学生はレベルが違うなあ」と。ところが、その女子学生は、国際ビジネス学科ではなく私のクラスの女子学生だったんです。

2つ目は、ケーブルテレビ富山が制作する高校生のための番組「ハイスクールチャンネル1周年記念特別番組「富山高専スペシャル」」で、商船学科の学生がリーダーとなって、富山高専の紹介をしていたことです。私はまったく知りませんでしたが、後でインターネットを見て驚きました。

皆さんはたくさんの思い出と友達を作って、今それぞれの新しい道へ歩みだそうとしています。皆さんは、今、横一線でスタートラインに立っているのです。皆さん、さあ歩みだしてください。夢に向かって一歩ずつ。

海事システム工学
専攻担任

山本 桂一郎



海事システム工学専攻9期生の皆さん修了おめでとうございます

専攻科海事システム工学専攻9期生の皆さん修了おめでとうございます。例年心配していることなのですが、入学してからの皆さんの研究の進捗を垣間見てきた立場から、8月末の大学評価・学位授与機構の審査結果を、期待と心配をしながら待っておりました。皆さんは、とにかく明るく主張がそれぞれ個性的で、どのように導くべきか私も悩みながら過ごしていた事を思い出します。

修了後は皆違う道を歩みます。それぞれに、人を幸せにする大切な役割を担います。まずは、個人の専門性を更に高める努力をしてください。広くアンテナを張って、会社が求める以上の勉強と、社会的関わりを持って生活してください。どのようなことがあっても乗り越えられる準備をしてみてください。もちろん、専攻科でのハードルよりも高いレベルを要求されると思いますが、すでに、多くのハードルを越えている皆さんは大丈夫です。これからの皆さんの活躍を期待しています。

学生のクラブ活動・課外活動

2015紀の国わかやま国体(第70回国民体育大会) 陸上部とヨット部がわかやま国体に出場!

第70回国民体育大会 陸上競技
平成27年10月5日(月)
紀三井寺公園陸上競技場(和歌山県和歌山市)

成年男子110mH 予選2組5位(14秒60)
五百崎 太郎(電子情報工学科5年)

少年男子Aやり投 決勝19位(58m12)
佐々木 堅進(機械システム工学科3年)



第70回国民体育大会 セーリング競技
平成27年9月10日(木)～13日(日)
和歌山セーリングセンター(和歌山県海南市)

少年男子420級 31位
井黒 航介(商船学科3年)
北村 大地(商船学科2年)

少年男子レーザーラジアル級 35位
宮下 司(商船学科2年)

少年女子420級 14位
湊谷 華奈(商船学科3年)



平成27年度全国高等学校総合体育大会 陸上部がインターハイに出場!

陸上競技
平成27年8月1日(土) 紀三井寺公園陸上競技場(和歌山県和歌山市)

男子やり投 予選2組19位(57m33)
佐々木 堅進(機械システム工学科3年)

第50回全国高等専門学校体育大会
平成27年8月14日(金)～30日(日)

全国高専大会では、バドミントン女子ダブルス優勝! 陸上競技、女子バレーボール、柔道でも華々しい戦績!

バドミントン競技

平成27年8月22日(土)・23日(日) 佐世保市体育文化館(長崎県佐世保市)

女子個人ダブルス **優勝** 池田 真子(国際ビジネス学科4年)
中野 三恵子(商船学科3年)



射水バドミントン部女子ダブルス優勝選手

陸上競技

平成27年8月29日(土)・30日(日)
東平尾公園博多の森陸上競技場(福岡県福岡市)

学校対抗 女子総合 **2位** 射水キャンパス陸上部
男子110mH **優勝**(大会新) 五百崎太郎(電子情報工学科5年)
男子円盤投 **優勝**(3年連続) 長井 勁哉(商船学科5年)
男子砲丸投 **優勝** 長井 勁哉(商船学科5年)
男子やり投 **優勝** 佐々木 堅進(機械システム工学科3年)
女子4×100mR **2位** 鎌倉 由佳(電子情報工学科5年)
栗山 結衣香(国際ビジネス学科5年)
松本 英里(国際ビジネス学科3年)
護摩堂 晴夏(商船学科4年)
女子円盤投 **優勝**(大会新) 地村 栄(国際ビジネス学科4年)
女子やり投 **2位** 二塚 咲来(国際ビジネス学科2年)



本郷柔道部



本郷柔道部



射水陸上部



射水女子バレーボール部

柔道

平成27年8月22日(土)・23日(日) 宮崎県総合運動公園武道館(宮崎県宮崎市)

柔道男子90kg **準優勝** 梶谷 尚希(機械システム工学科3年)

女子バレーボール競技

平成27年8月22日(土)・23日(日)
カルチャースポーツセンター山鹿市総合体育館(熊本県山鹿市)

3位 射水キャンパス女子バレーボール部

Club Activities

全国高専将棋大会では 団体準優勝！

第22回全国高等専門学校将棋大会

平成27年8月24日(月)～26日(水)

松江しんじ湖温泉すいてんかく(鳥根県松江市)

団体戦 **準優勝** 高島 慧也(機械システム工学科5年)
 湊 開誠(機械システム工学科4年)
 野村 俊光(物質化学工学科4年)

個人戦 **3位** 湊 開誠(機械システム工学科4年)



射水キャンパス「デジタルメディア創作部」が 全国高専プロコンで、決勝戦出場!!

第26回全国高等専門学校プログラミングコンテスト

平成27年10月11日(日)～12日(月) ホクト文化ホール(長野県長野市)

デジタルメディア創作部が、第26回全国高等専門学校プログラミングコンテスト(高専プロコン/開催地:長野県)に出場し、競技部門で決勝戦出場を果たしました。高専プロコンは、自由部門・課題部門・競技部門に分かれており、競技部門は事前に知らされたルールのもとに、与えられる問題を解くプログラムを作成し、ほかのチームと戦います。今回の競技部門は、指定された敷地に石を敷き詰めるゲームでした。私たちのチームは、「ビームサーチ」というアルゴリズムを応用して問題を解くプログラムを作成しました。本戦では、全68チームが出場しました。私たちのチームは、回答時間の差がわずか2秒で敗退するチームが出る接戦を制し、全国8位という好成績を残しました。



浦上 拓人(電子情報工学科4年)

射水市・政策提案審査会

平成27年8月30日(日) アイザック小杉文化ホール ラポール

「選ばれるまち いみず」をテーマに、富山高等専門学校射水キャンパス、富山県立大学、富山福祉短期大学、富山情報ビジネス専門学校に在籍する学生からの射水市における政策提案審査会が開催され、1. 独創性、2. 射水市が抱える課題の把握、3. 提案内容の評価のもと、射水キャンパスから出場した2グループが最優秀賞、イヤサー賞を受賞しました。

最優秀賞 射水キャンパス「生き生きいみず」

伊藤 大樹(国際ビジネス学科3年)
 松村 さくら(国際ビジネス学科3年)
 菅 乃望子(国際ビジネス学科3年)

イヤサー賞 射水キャンパス「NHT」

中本 紀奈乃(国際ビジネス学科2年)
 津幡 ひかり(国際ビジネス学科2年)
 波多野 世唯(国際ビジネス学科2年)



国際ソロプチミスト富山 「第17回 ユース・フォーラム2015 in とやま」で最優秀賞を受賞

5月23日(土)、国際ソロプチミスト富山が主催する「ユース・フォーラム2015 in とやま」が富山市民プラザで開催され、国際ビジネス学科2年の津幡ひかりさんが最優秀賞を受賞いたしました。フォーラムは、2年に1回の割合で実施され、今年度で17回目を迎えます。本校は2005(平成17)年から参加しています。今回は「世界における女性たちの生き方」をテーマとしており、片山学園高、富山国際大学附属高、富山第一高、富山高専の4校から12名の女子生徒・学生が論文発表とディスカッションに参加しました。本校からは、津幡さんの他に、国際ビジネス学科2年の木村まみさん、酢美沙紀さん、3年の長谷川仁子さんが出場しました。津幡さんは、7月23日(木)・24日(金)に国立民族学博物館で開催された「ユース・フォーラム2015 in 大阪」に、代表として参加しました。



ビジネスプランコンテスト inフォッサマグナ

平成27年9月26日(土)・27日(日)

フォッサマグナミュージアム(新潟県糸魚川市)

「自分の人生とは何か?」をコンセプトに、高等専門学校、大学、大学院の学生14チーム39名が参加、プランの新規性、実現性、継続性、採算性とプレゼンテーション能力を基準に評価が行われました。

グループ賞 (準優勝) 射水キャンパス「まーゼミ(清水ゼミ)」

伊藤 大樹(国際ビジネス学科3年)



富山高等専門学校 創立50周年・創基110周年記念事業

記念式典・記念講演

日時：平成27年10月5日(月)
場所：富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)

祝賀会

日時：平成27年10月5日(月)
場所：オークス・カナルパークホテル富山



富山高等
専門学校長
石原 外美

創立50周年・ 創基110周年を 迎えて

平成27年10月5日、オーバード・ホールに於きまして、富山高等専門学校創立50周年・創基110周年記念式典を開催しました。お陰をもちまして、文部科学省をはじめ国会議員の皆様方、関係自治体代表や地元産業界の皆様、本高専と関係の深い国内外の大学の代表の皆様などの関係各位、また多くの在校生、保護者の皆様のご出席のもとで、記念式典を滞りなく成功裏に挙げてまいりました。また、その後開催された国際セミナーにおいて、本高専学生、並びに教職員に国際体験を積ませることができました。これも、ひとえに皆様方のご支援、ご協力があったからこそと思っております。富山高等専門学校の教職員を代表し、あらためまして、皆様方に厚く御礼を申し上げます。

かねてご高承の通り、富山高等専門学校は平成21年10月に、富山工業高専と富山商船高専とが高度化再編されて、新しい機能を備えた高専として誕生しました。富山高等専門学校は、機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、並びに電子情報工学科の工学系の4学科と、文系の国際ビジネス学科、そして商船学科の合計6学科からなっております。本高専は、全国の他の高専と比較して、工学系、文系そして商船系までの幅広い教育研究分野を有しています。特に、文系の学科を有する高等専門学校は、本高専以外には無く、そ

のことが、本高専の大きな特徴となっております。

富山高等専門学校では、3つの教育理念を掲げています。すなわち、第一に、「創意・創造」、第二に「自主・自律」、そして第三に「共存・共生」です。本高専は、以上の教育理念の下、日本並びに世界で活躍する技術者、ビジネスパーソン、そして海事技術者を育てることを使命とする高等教育機関です。高等専門学校では、技術者養成のために、5年一貫教育を行っています。もし、専攻科へ進学しますと、7年一貫の教育となります。

統合後6年を経た現在、本郷キャンパスと射水キャンパスは一つの組織として一体的に運営され、学生・教職員ともに、新しく生まれ変わった富山高専を広く認知いただけるように、また、教育・研究活動、地域貢献におけるプレゼンスを高めるように努力しています。

本高専は、平成26年4月、製品開発・社会貢献本部を設置しました。これは地域の企業が必要とする製品開発や企業人教育を支援することを通じて、本高専の役割や貢献を社会に認知してもらうことを目的としています。また、本高専では、現在、北アイルランド、ハワイ、中国、シンガポール、タイ、ハンガリー等にある教育・研究機関との間で学生交流活動を着実に進めております。キャンパスの国際化を実現することにより、学生諸君の勉学への意欲を高め、そして最終的にはグローバル人材養成につながるよう力を注いでいるところです。加えて、教員間の交流を進めるために、上記国々の大学と連携し、国際研究シンポジウムの開催並びに共同研究の実施を積極的に進め、本高専のさらなる活性化、社会におけるプレゼンスの向上に努めたいと考えています。

この度の、富山高等専門学校創立50周年・創基110周年記念事業は、両キャンパスの歴史と文化を記念した統合行事として取り組んできたものであり、今後は富山高専としての新しい伝統を築いていきたいと考えております。皆様方からいただいた多大のご支援と母校への熱い思い、並びに積極的な記念事業へのご参画に対して、改めて深く感謝申し上げます。

富山高等専門学校は、地域の皆様にも愛され、そして信頼される高等教育機関となるよう、教職員一同、一丸となって努力してまいります。どうぞ、皆様方からの変わらないご指導、ご鞭撻、そしてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記念式典・記念講演

さらなる50年に向けて、地域に根ざしたグローバル人材の育成へ。

平成27年10月5日、富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)において、創立50周年・創基110周年記念式典・記念講演会を挙げてまいりました。記念式典では、文部科学省をはじめ国会議員、関係自治体、地元産業界、及び本校と関係の深い国内外の大学からの来賓・招待者、教職員及び学生等約1,700名が参加しました。

石原外美校長の式辞の後、下村博文文部科学大臣(代読：佐野太 文部科学省大臣官房審議官、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長)、橘慶一郎衆議院議員、野上浩太郎参議院議員、田畑裕明衆議院議員、及び石井隆一富山県知事(代読：寺林敏富山県副知事)から祝辞をい

ただきました。

来賓紹介の後、学生を代表し、本郷キャンパス学生会長高木瞭さんと射水キャンパス学生会長伊藤大樹さんが、「高専で学ぶ私たちの誇りである『夢みる力で未来をつくる力』を、これから入学してくる後輩、さらには次の50年へと受け継いでいく」と誓いの言葉を述べました。

続いて、脳科学者茂木健一郎氏による「いつからでも脳は鍛えられる」と題した記念講演が行われました。

また、講演会終了後にカナルパークホテル富山において、記念祝賀会が盛大に開催されました。

富山高等専門学校のあゆみ

	旧・富山商船高等専門学校(射水キャンパス)	旧・富山工業高等専門学校(本郷キャンパス)
明治39(1906)年 7月 3日	新湊町立新湊甲種商船学校を、新湊町放生津344番地の南島間作氏別宅に開校。航海科を設置(第1期生25名入学)。	
明治41(1908)年 1月 8日	新湊町放生津1096番地の「山王町校舎」に移転	
明治42(1909)年 4月 1日	富山県へ移管、富山県立商船学校となる	
大正9(1920)年 11月 20日	新湊町放生津357番地(現在の射水市立新湊中学校敷地)に移転	
昭和14(1939)年 4月 1日	機関科設置。8月19日、文部省へ移管、富山商船学校となる	
昭和17(1942)年 1月 10日	逓信省所管となる	
昭和18(1943)年 11月 1日	運輸逓信省所管となる	
昭和20(1945)年 5月 18日	運輸省所管となる	
昭和26(1951)年 4月 1日	文部省へ移管、富山商船高等学校となる	
昭和39(1964)年 4月 1日		富山工業高等専門学校を現在地(富山市本郷町13番地)に設置。機械工学科、電気工学科、工業化学科各1学級を開校。4月18日、開校式及び第1回入学宣誓式挙行。
昭和42(1967)年 6月 1日	富山商船高等専門学校となる(航海学科、機関学科各1学級)	
昭和44(1969)年 4月 1日	新湊市海老江総合1番地2の現在地に移転(竣工は3月11日)。航海学科1学級増。	金属工学科設置
昭和60(1985)年 4月 1日	航海学科2学級を1学級に改組及び情報工学科を設置	
昭和63(1988)年 4月 1日	航海学科及び機関学科を商船学科1学級(航海コース、機関コース)に改組。電子制御工学科を設置。	
平成元(1989)年 4月 1日		工業化学科を物質工学科に改組
平成5(1993)年 4月 1日		専攻科設置(機械・電気システム工学専攻、機能材料工学専攻)
平成7(1995)年 4月 1日		金属工学科を環境材料工学科に改組
平成8(1996)年 4月 1日	国際流通学科設置	
平成16(2004)年 4月 1日	独立行政法人移行(独立行政法人国立高等専門学校機構設置)	
平成17(2005)年 4月 1日	専攻科設置(海事システム工学専攻、制御情報システム工学専攻)	
平成21(2009)年 10月 1日	富山工業高等専門学校と富山商船高等専門学校を統合・再編し、富山高等専門学校を新設。本郷キャンパスに、機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科の3学科を、射水キャンパスには、電子情報工学科、国際ビジネス学科、商船学科の3学科を設置した。専攻科については、本郷キャンパスでは従前の2専攻を再編してエコデザイン工学専攻を新設。射水キャンパスでは引き続き、制御情報システム工学専攻、海事システム工学専攻を設置した。	
平成22(2010)年 4月 1日	専攻科に国際ビジネス学専攻を新設(射水キャンパス)	
平成27(2015)年 10月 5日	創立50周年・創基110周年記念式典を富山市のオーバード・ホールにて開催	



第2回高専祭(昭和45年10月31日～11月3日)



富山県立商船学校「山王町校舎」



昭和49年頃の富山工業高専全景



富山工業高専実習工場(昭和40年代前半)



富山県立商船学校 大正8年の卒業式



富山県立商船学校 昭和13年の実習風景



機械工学科実習(昭和41～43年頃)



工業化学科実習(昭和41～43年頃)



電気工学科実習(昭和41～43年頃)



オーバード・ホール入口



壇上のご来賓



茂木健一郎先生



高専 ロボコン



アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2015

日時：平成27年10月4日(日) 場所：プラサ ヴェルデ 多目的ホール (静岡県沼津市)

射水Aチーム ベスト4進出！ 本郷Aチーム 特別賞受賞！



大会結果

- 本郷A：二回戦6-V9 (鈴鹿B「メカロン」)
特別賞 (安川電機) 受賞
- 本郷B：二回戦3-0 (鳥羽商船B「わっ！鳥羽・Sea」)
三回戦3-4 (射水A)
- 射水A：一回戦5-4 (豊田A「回すよ!!! chicken 龍太郎」)
二回戦5-0 (沼津B「やぶさめちゃん」)
三回戦4-3 (本郷B)
準決勝6-7 (福井B「福輪来」)
- 射水B：一回戦1-3 (豊田B「YA・MA・TA」)



ベスト4まで勝ち上がった射水Aチーム

2015年の競技課題 「輪花線乱」

各チーム1台のロボットと3人の高専生が赤と青の2チームに分かれて、太さや高さの異なる様々なボールに輪を投げ入れることを競います。輪の大きさは各チームが自由に決めることができます。対戦相手より先に9本すべてのボールに輪を投げ入れたチーム(成し遂げたチームは試合結果にV9と表記されます)、もしくは競技時間3分終了後、ボールに輪を投げ入れて得た得点の多いチームが勝利となります。ちなみに、課題名は、「百花繚乱」という四字熟語をもとに考案されたそうです。花が咲き乱れるように、ロボットの投げける赤や青の輪が飛び交ってほしい、優れたエンジニアが数多く現れてほしい、という願いが込められています。

本郷キャンパス

チーム構成

Aチーム HON50(ホンゴウ)	
指導教員	田尻智紀先生
メンバー	高坂 憲太(電気制御システム工学科4年) 高木 輝(機械システム工学科4年) 窪田 太一(電気制御システム工学科2年)
Bチーム 射輪士(イワシ)	
指導教員	渡辺秀典先生
メンバー	川村 翔馬(電気制御システム工学科2年) 竹澤 大智(電気制御システム工学科3年) 松平 智樹(電気制御システム工学科3年)



Aチーム

電気制御
システム工学科4年
高坂 憲太



ぼくらの高専ロボコン

10月初旬。私たちは、静岡県沼津市で行われた東海北陸地区大会に出場しました。10高専から20チームが参加し、高専ロボコン地区大会の中で最大規模の大会です。大会当日になり、会場は緊張に包まれていました。そして、私たちの第一試合が始まります。第一試合の相手は、鈴鹿高専Bチーム「メカロン」です。前日のテストランでは、圧倒的な強さを見せた強敵です。セッティングタイムを終えて、いよいよ試合開始です。HON50は、輪を外しながらも3本のボールに輪を入れます。4本目のボールに輪を入れた時、メカロンはVゴール(すべてのボールに輪を入れた状態でその時点で勝利)を達成していました。しかし、HON50は意地を見せ、6本のボールに輪を入れることができました。結果は、9対6でした。私は、HON50を共に作り上げた仲間たちを誇りに思います。来年こそ、全国大会に出場しましょう。

高専ロボコン当日の射輪士

大会当日、初戦の相手は鳥羽商船Bの「わっ!鳥羽・Sea」でした。私たちのチームは自ボールをすばやく決め中央ボールを狙いにいきます。しかし中央ボールになかなか輪が入りません。そのまま3分が経ち、初戦は勝利しました。次の相手は射水Aの「ドルフィンボール」です。そのチームは最初の試合で5点を決めているため、私達が中央ボールに輪を入れないと確実に次に進めません。すぐに試走場で調整にかかります。富山対決は接戦でした。射水Aが終了間際に中央ボールに輪を入れ、結果3-4で終わりました。本番では中央ボールに輪を入れることができませんでしたが、誤動作など起きずにスムーズに競技をできていたのでその点に関してはよかったと思います。今年取り入れた技術や経験を生かして来年は全国に行けるよう、頑張りますので応援よろしくお願いします。

Bチーム

電気制御
システム工学科4年
林 将史



射水キャンパス

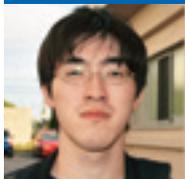
チーム構成

Aチーム ドルフィンボール	
指導教員	由井 四海先生
メンバー	河合 怜(電子情報工学科4年) 磯部 良太(電子情報工学科4年) 南日 聡太(電子情報工学科3年)
Bチーム ラコーン(ユミコン)	
指導教員	山口 晃史先生
メンバー	竹内 克輝(電子情報工学科2年) 長谷川 大起(電子情報工学科2年) 島田 拓海(電子情報工学科2年)



Aチーム

電子情報
工学科4年
河合 怜



ロボットによる輪投げ

今回の競技は輪投げです。フィールド上にある9本のボールに、いかに早く・正確に輪を入れられるかを競うものでした。ボールは1mから3mの長さであり、投げる距離も違うため非常に苦労しました。競技で使用する輪は、ホースを加工して作成したものであり、柔らかいため、しっかり投げることに難しいものでした。製作中、様々な調整を繰り返し、正確にボールに入れられるようになった時はとても嬉しかったです。本番では3戦目の試合が印象に残っています。この試合ではゴムの調整が上手くいっておらず、なかなか輪をボールに入れることができませんでした。最後まで調整を繰り返し、残り1秒で輪を入れることができ勝利することができました。今回、様々なものを学ぶことができ、とてもよい経験ができました。また、お世話になった教職員の皆様に心から感謝したいです。

ロボコンに参加して

私たちのチームは2年生が主力となりロボットを作製しました。メカトロ部に入学してまだ1年半ということもあり、大会当日まで困難続きの日々でした。今年の競技は対戦形式の輪投げということで、輪をいかに早く正確にボールに入れるかというところに力を入れました。そのために、大きな輪を投げ、3本のボールに同時に入れる機構を考えていました。しかし設計の間違いと機体の重量制限により途中で断念することになり、実現させることができませんでした。また、他の機構も自分たちの思った通りに動くようになるまで時間がかかりました。大会では1つの輪を入れるのに精いっぱい、初戦敗退という悔しい結果で終わってしまいましたが、大会までの約半年間でとてもよい経験ができたと思います。来年は今年の経験を生かして、頑張りたいと思います。

Bチーム

電子情報
工学科2年
竹内 克輝





カラオケ決勝



ダンス発表



両キャンパス合同ダンスチーム

高専祭 — 志峰祭 —

本郷キャンパスが祭り一色に賑わった2日間

本年度の富山高専の学園祭は、本郷キャンパスが会場となり、11月7日(土)、8日(日)の2日間にわたり開催され、多くの人で賑わいました。

今年が目玉イベントとして、国産旅客機MRJ開発者の戸田信雄先生、将棋プログラマの山本一成先生による講演会を開催。日本を代表する技術者の講演に、来場者は熱心に耳を傾けました。



講演会 日の丸旅客機を世界の空へ
MRJ 開発者 戸田信雄先生



講演会 将棋電王戦で考えるコンピュータ
と人の未来 山本一成先生



電気制御システム工学科 学科展示



1年生書道・美術作品展示



鉄道部



吹奏楽部コンサート

第7回高専祭 一志峰祭一

開催日時：平成27年11月7日(土)、8日(日) 開催場所：本郷キャンパス

第7回高専祭を振り返って

第7回高専祭
実行委員長

物質化学工学科4年

金子 昌揮



まず、第7回高専祭一志峰祭一を運営するにあたり、協力していただいた学生、教員、地域の方々、その他の関係者の方々にお礼申し上げます。

僕にとっての志峰祭は、2年前から始まっていました。先輩方が作り上げた伝統をこの創立50周年の節目にどのような形にしていこうか、どうやって自分達らしさを入れようか、プレッシャーに負けそうになりながらも、多くの思考錯誤を重ねてきました。先輩方から受け継いだ物のおかげで助かる場面もありましたが、それが逆に自分達らしさを出すのを難しくしたこともありました。しかし、実行委員会の仲間や先生方が様々なアイデアを出してくれたおかげで、高専祭を大きな成功へと導くことができました。

志峰祭はこれからも続いていきます。このよき伝統を引き継ぎつつ、未来の高専祭実行委員が高専祭を素晴らしいものにしてほしいと思います。

高専祭を終えて

模擬店部

電気制御
システム工学科4年

網谷 達輝



片づけが終わった際に「やったな!」と模擬店運営を指導して下さった森先生に背中を叩かれたのを今でも覚えている。

思えば10月はほとんどが準備に費やした1カ月だった。毎日のように書類に訂正を入れ、メールを作成し、日中もその日やらなければいけないことを無意識に反芻してしまい、上の空だったこともざらであった。そういった関係から模擬店担当というのは「人として大きく成長できる仕事」ではないかと思う。また、模擬店担当は、他部署の人に仕事の手伝いをしてもらったり、前任の模擬店担当の方が準備や片づけを手伝いに駆けつけて下さったりといった、人のつながりを一番強く感じられる部署であったと思う。2年後にこの部署をだれが務めるのかはわからないが、ぜひがんばってもらいたい。たとえ一人きりでがんばっているように感じても、君は一人ではないのである。

志峰祭に参加して

電子情報工学科3年

嶋崎 栄樹



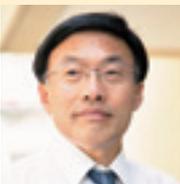
ダンス部として参加させていただきました。学校の行事や課題などで練習する期間も少なく、全体練習ができないままステージに立ちました。多くの方々に盛り上がりいただき、とても楽しく踊ることができました。また、今年は本郷キャンパスと射水キャンパスの合同でダンスをしました。打ち合わせやダンスの練習などでキャンパスを越えて交流し、両キャンパスの絆を深めた志峰祭でした。

来年は北斗祭です。僕は北斗祭の運営に携っており、企画や模擬店など北斗祭の活動を総括する立場です。北斗祭でも、私たちのダンスはたくさんの人に見てもらいます。入学してまもない1年生にも、ステージを見てくださったことのある在校生や、遊びにきてくださった一般の方々にも楽しんでもらえるステージを目標にしています。部員がたくさんいるため、団結するのは大変ですが、よりよい北斗祭を目指したいです。

高専祭一志峰祭一 文化祭一寮祭

物質化学工学科
教授

阿田 賢生



旧富山工業高等専門学校は東京オリンピックが開催された昭和39年(1964)に創立されました。以来、51年の歳月が経ったこととなります。そして、今年には本郷キャンパスで第7回高専祭一志峰祭一が開催されました。

かつて旧富山工業高専では毎年5月に寮祭、11月に文化祭、そして3年に1度、規模の大きな文化祭として高専祭を行っていました。当時の高専祭は学校を挙げての行事で、すべての実験室を公開して、来校された方々に実験設備や研究設備等を見ていただいております。そして行事等の見直しにより、平成3年(1991)に寮祭と文化祭が統合されて、志峰祭という新しい名称で文化祭がスタートしました。しかし、この頃より、総力結集しての企画が少しずつ減ってきたように思います。ちなみに平成4年(1992)の第27回北陸地区体育大会までは、9年連続総合優勝を果たしています。以降、総合優勝は一度もありません。

そして、平成21年(2009)10月に旧富山工業高専と旧富山商船高専が統合再編され、その年の11月に本郷キャンパスで第1回高専祭一志峰祭一が行われました。現在、高専祭は本郷キャンパス(志峰祭)と射水キャンパス(北斗祭)とで交互に開催されています。高専祭は学生が知恵を集め、力を合わせ、そして新しい企画を練って行くものです。今年のテーマの如くどんどんstep upして行って欲しいと思います。

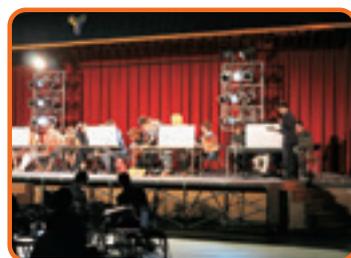
最後に60周年、100周年に向けて、富山高専が益々発展していくことを期待してやみません。



模擬店



模擬店



雑学王決定戦



専攻科 科学実験教室

ものづくり・流通の現場を体験して

Study Tours

本郷キャンパス

機械システム
工学科4年

碓井 優介

巨大スケールの製鉄所に圧倒!



私達機械システム工学科4年は、10月13日から16日にかけて、京浜工業地帯を中心に東京湾沿岸部にある様々な業種の工場見学を行いました。見学先は訪問順に味の素川崎工場、日産追浜工場、株式会社クレハ環境(ウェスティックかながわ)、新日鐵住金株式会社の4社で、食品、自動車、環境、鉄鋼分野について学びました。その中でも私にとって最も印象に残っているのは新日鐵住金株式会社が挙げられます。製鉄所の敷地面積だけでなく、工場そのものの広さや、設備の大きさに驚きました。中でも圧延工程での製造ラインの説明において、熱された鉄が近くを通過した際に熱さを肌で感じた事が印象に残っています。今回見学させていただいたすべての会社から、私達は学校では学べない企業のものづくりについてたくさん学ぶことができました。ご協力していただいた皆様たいへん感謝しています。この場を借りて御礼申し上げます。

見学先

味の素川崎工場、日産追浜工場、みなとみらい技術館、株式会社クレハ環境、新日鐵住金株式会社、東京国立博物館

本郷キャンパス

電気制御
システム工学科4年

覚田 遼生

ものづくりの現場にふれる貴重な体験



電気制御システム工学科は東京方面に工場見学に行ってきました。4日間の日程の中で見学させていただいた民間企業は富士通株式会社川崎工場、東芝三菱電機産業システム株式会社京浜工場、新日鐵住金君津製鉄所、富士重工業株式会社の4社です。富士通株式会社では通信やネットワークの歴史やスーパーコンピュータの説明、またICT技術の紹介を受けました。また、執務スペースの見学も行いました。東芝三菱電機産業システム株式会社では、今授業で理論を学んでいる電動機の製造過程を見ました。新日鐵住金では熱間圧延の様子を見学し、長さ1km以上もあるコンベアを用いて薄板を製造する過程を見ることができました。富士重工業では自動車の生産ラインの見学や、歴代のスバル車と、現代の安全技術についての実物を用いた説明を聞きました。それぞれの企業で現場の仕事の様子を見るという貴重な経験ができてよかったです。この工場見学で得た経験を、進学・就職活動に活かしていきたいと思います。

見学先

富士通株式会社川崎工場、東芝三菱電機産業システム株式会社京浜工場、新日鐵住金君津製鉄所、富士重工業株式会社

本郷キャンパス

物質化学
工学科4年

田邊 真悟

視野が広がった企業見学



私たち物質化学工学科は、10月13日から4日間の日程で、北興化学工業新潟工場、味の素川崎工場、ユースキン製薬横浜工場、サントリー天然水南アルプス白州工場を見学しました。見学先はすべて化学系工場でしたが、どの工場も環境に配慮する取り組みをしており、排出されるCO₂の削減、工場排水の完全浄化などの説明を受けました。品質・衛生管理の現場では作業の徹底管理により製品の安全性が確保されていることがわかりました。さらに製品開発では、製造現場と他部署との連携が不可欠であることを改めて認識しました。今回、実際に工場を見学したことで、現場がどういったものかを学ぶことができ、それに伴う業種や職種が様々であることを知りました。おかげで視野が広がり、進路をより具体的に考えることができるようになったと思います。

見学先

北興化学工業新潟工場、味の素川崎工場、ユースキン製薬横浜工場、サントリー天然水南アルプス白州工場

本郷キャンパス 10月13日～16日
射水キャンパス 10月20日～23日

射水キャンパス

未来技術に触れた工場見学

電子情報
工学科4年
初道 哲也



私たち電子情報工学科が、今回の工場見学で訪問させていただいたのは、パナソニックセンター東京、川崎エコ暮らし未来館、富士通テクノロジーホール、日産自動車株式会社追浜工場、NTTドコモR&Dセンタでした。それぞれの見学先は、一見まったく違った分野、まったく違った在り方のように思いましたが、見学を終えてみると根本では似通った理念があるように感じられました。配布された端末による体験型理数学習、広大な太陽光発電所、スーパーコンピュータ『京』とその後継機、電気自動車の普及活動とその後のビジョン、AR技術等を活用したデバイス。それらはいずれも『未来』をよりよいものにしよという理念の下で考えつくられたものでした。私達もこのように技術を未来へと託していく力の一部になりたい、そう感じた工場見学でした。

見学先

パナソニックセンター東京、川崎エコ暮らし未来館、富士通テクノロジーホール、日産自動車株式会社追浜工場、NTTドコモR&Dセンタ

射水キャンパス

進路を考えるきっかけに

国際ビジネス
学科4年
湊 達哉



私たち国際ビジネス学科4年生は、全日空、東京税関、外務省、国土交通省、花王すみだ事業場を訪問させていただきました。選定されている訪問先は普段、簡単に見学できない場所だったので、今回の訪問は貴重な体験になりました。どの訪問先でも忙しい中、丁寧に案内してくださった職員の方々に感謝したいと思います。宿泊先となったウェスティンホテル東京や京王プラザホテルでも業界の仕組みや働く上での苦労を教えてくださいました。また、卒業生が勤務されていたので、在学中にやっておくべきことなど今の私たちに必要なことも知ることができ、有意義な体験でした。

この流通見学は、進路を考える上で、私たちの視野を広げてくれる大事なものだと感じました。また、時間は僅かですが、浅草散策などは修学旅行のない私たちにとってはかけがえのない思い出となりました。

見学先

全日空、東京税関、外務省、国土交通省、花王すみだ事業場

射水キャンパス

航海訓練所青雲丸での乗船実習

商船学科3年 7月21日～8月20日

商船学科
航海コース3年
前 美羽音

私たち商船学科3年生は、7月21日から8月20日まで、航海訓練所の乗船実習に参加しました。初めてということもあり、期待と不安で複雑な心境でした。青雲丸へは、弓削商船高専の3年生、東京海洋大学の1年生、長期で乗船している本校実習生(6年生)などが参加していました。

乗船してすぐに、北海道の小樽港へ出発しました。初めての当直はできないことがほとんどでした。長期の実習生に教えてもらいながら、見張りやレーダーの使い方、報告の仕方などを少しずつ覚えていきました。台風を避けながらの航海だったので、船の揺れがひどく、吐き気や眠気との戦いでもありました。その時は早く船を下りたいと思うほどでした。徐々に船での生活や当直に慣れ、他校の実習生とも仲よくなり、最後の1～2週間はまだ船に乗っていたと思うほど、船での生活は楽しかったです。士官(指導して下さる士官の先生方)は厳しかったけれども、さまざまな人と関わり、周りの人と協力することの大切さ、難しさを強く感じました。

1カ月の乗船実習は、貴重な体験の連続で、商船学科であることを誇らしく思いました。座学では学べない実践力はとても大切で、他の商船の学生から刺激を受けることにより、今の自分がどうあるべきか考えさせられました。今回の実習で学んだことをこれからに生かし、自己を高めていきたいです。



企業見学で学んだこと

県内工場見学(3年生) 10月16日

見学先

機械システム工学科: コマツNTC、日本ゼオン高岡工場
電気制御システム工学科: 北陸電力 志賀原子力発電所・福浦火力発電所・志賀太陽光発電所
物質化学工学科: 日東メディック、アステラス富山技術センター

電子情報工学科: 日立国際電気、YKK黒部事業所
国際ビジネス学科: 北陸銀行本店、スギノマシン
商船学科: 日本通運富山新港国際輸送支店、中島開門

本郷キャンパス

企業が求める人材とは

機械システム
工学科3年
梶谷 尚希



県内工場見学で、技術振興会企業であるコマツNTC株式会社福野工場と日本ゼオン株式会社高岡工場を見学させていただきました。コマツNTCでは、車のエンジン部品を作る工作機械を世界の自動車メーカーの要望に応じて設計・製造しており、日本ゼオンでは、スマートフォンのディスプレイなどの樹脂を生産しています。担当者に「仕事のやりがい」などを尋ねたところ、機械を設計・製作し納品した時や、自分たちが製造したものが身近で使われている時などにやりがいを感じるかと答えていました。また、「企業が求めている人材」についての質問では、様々な人々と協力して作業を進めなければならないので、積極的に明るく、あいさつができ、ある程度の語学力があることが必要だと分かりました。これから学校生活の中で、専門知識や技術などの修得以外に、行動力などの人間性を高めたいと思います。

射水キャンパス

海運輸送の現場を体験

商船学科
機関コース3年
松井 真悟



日本通運(株)富山新港国際輸送支店に行き、船という存在の偉大さを感じることができました。それは、日本の貿易はほぼ100%海運輸送が占めているということを知ったからです。資源に貧しい日本は「衣食住」のもととなる原材料のほとんどを海外から輸入しています。船には、たくさんの種類があり、運ぶ物によって、形や特徴が全然違います。その中でもコンテナ船について詳しく教えてもらうことができ、実際にコンテナを見て、思っていたよりも大きく、びっくりしました。今では、20フィート(6m)コンテナを9,000個近く積める船があります。それを考えると大量の貨物を一度に運べる船の凄さ、それを動かす航海士、機関士の方々の凄さを感じることができました。企業見学に行き、本校OBの森本支店長さんや高柳課長さんのお話を伺い、船について知らないこともまだまだあることが分かり、船についてもっと勉強したいと思いました。

企業見学とキャンパス交流を終えて

校外研修(2年生) 10月16日

見学先

機械システム工学科: アサヒ飲料
電気制御システム工学科: シキノハイテック
物質化学工学科: 日産化学工業
電子情報工学科: 国際ビジネス学科・商船学科: アイオーティカーボン(富山市エコタウン産業団地)
午後は合同で滑川市の東福寺野自然公園にてバーベキュー

本郷キャンパス

さらなる技術開発を続ける姿勢を学ぶ

電気制御システム
工学科2年
上田 巧太



10月16日(金)、電気制御システム工学科2年生は、魚津市にある株式会社シキノハイテックへ工場見学に行きました。社員の方からLSI設計や基板設計、ソフトウェア開発に力を入れ、今の状態で満足せず開発し続ける姿勢や、会社全体で、社会貢献に努めている事を教えていただきました。僕たちが、3年後、5年後に社会に出るとき、今学習している「ものづくり」が役立つよう、しっかり学ばなければならないと、改めて思いました。午後からは、滑川市東福寺野自然公園に移動し、射水キャンパスの2年生と合同でバーベキューをしました。普段接する機会がなく、最初はお互い緊張していましたが、テーブルを囲み話しているうちに打ち解け、とても楽しい時間を過ごすことができました。

射水キャンパス

エコビジネスの現在を見学

国際ビジネス
学科2年
丹羽 庸



10月16日に2年生の遠足がありました。県外の「光る」ものを「観る」という意味で、多くの人が楽しみにしていました。しかし、今年は行き先が富山県内に変更になり、残念に感じた人も多かったようです。私は出身が高山市の近くであったため、喜んでいました。当日は、観光バスに乗り、富山市内のエコタウンにあるアイオーティカーボン株式会社へ見学に行きました。そこでは身近な廃材を回収から商品化まで一連の過程を行うビジネスを学習することができました。初めて目にするものも多く、大変勉強になりました。次に東福寺野自然公園へ移動し、本郷キャンパスの学生と一緒にBBQをしました。本郷キャンパスの学生とは交流する機会がほとんどなかったため、楽しい時間を過ごすことができました。その後は、子供心に戻り、遊具で楽しく遊びました。今回の遠足を振り返ってみると、普段とは違った経験ができ、皆にとっても充実したよい経験になったと思います。

本郷キャンパス

教務主事

西 敏行



その先にあるものを目指して

「起立、礼、お願いします」今から30年前、赴任して初めての授業が、この号令で始まりまし。赴任前、授業経験はなく、ほぼぶっつけ本番。ただただ緊張の連続。その後の授業もしどろもどろ。人前で話すのが大の苦手。毎日が辛い日々。この仕事は自分に向いていない。そんなとき、1年生担任を任されました。私には絶対務まらない、この担任を終えたら、別の仕事に就こう、そう強く心に決めました。慣れない担任。でも、学生と接するうちに元気をもらえるようになりました。担任も終盤の頃、思い出としてクラス全員で記念写真を撮りました。写真の中には学生の笑顔に囲まれ満面の笑みを浮かべる自分がありました。何だかうれしくなり、もう少し頑張ってみようかな、と思い直しました。

あれからもう30年。いろいろな出会いがありました。あのときこの仕事を辞めていたら、その出会いはなかったでしょう。皆さんも人生で絶望的になることもあるでしょう。しかし、それを乗り越えたら、その先に何が待っているかは生きてみないとわかりません。これから何が自分を待っているのか、それを見つけるためにお互い日々格闘していきましょう。人生は何とかなる！一緒に頑張りましょう。

射水キャンパス

教務主事

中谷 俊彦



最近の学生さんは… 頑張っているのです！

年をとると何気なく「最近の学生は…なっていない！」ということを書いてしまう。真偽のほどはわからないがピラミッドか何かの遺跡にも若い人を批判する文字が残っているらしいし、日本の古典の中にも同様な批判文が書かれているようである。ところで本当にそうだろうか？

ずっと昔に読んだ戦記物の中で山本五十六提督が若者とじっくりと議論した後で『まったく最近の若者は…』という批判を今後安易にしてはならない、と決意した」と書かれていた。おそらくその若者は提督を唸らせるような情熱や実行力があつたのだろう。さらに最近読んだ北野武の「新しい道徳」によれば、若者の犯罪件数に関する統計データは明らかに減少傾向を続けているそうである。私が若かった頃より今の若い人のほうが法令を守っているのである。つまり、今の若者はきちんとして頑張っているのだ！

こういうデータを見せられると年配者はすぐに「そうかもしれないが、昔の若者はもっと元気があつたのだ…」などと苦しい言い訳しがちである。悲しいことに年をとると素直でなくなってしまうものである。きちんとしている若い学生さん、いつまでも素直さを忘れずに、学業に励み、そして年配者も大切にしてください。

学生相談室からのお知らせ

Information

本郷キャンパス

学生相談室本郷キャンパス室長 高橋 勝彦

学生相談室は、相談員が学生の相談をじっくり聴く場所ですが、学生が「おしゃべり」するところでもあります。小さな戸惑いや不満、あるいは楽しいことでもいいのです。「こんなことは笑われてしまうかな…」などと思わずに、気軽に訪ねてみてください。必要ならば専門家の助けを借りることもできます。相談の内容については秘密が守られますので、安心して相談してください。

学生相談室は、定期的実施するアンケートや心理テストにより学生の心身不調の発見や予防に努めておりますが、くわえてご家庭の協力が不可欠です。そこで学生相談室は、保護者の皆様からのご相談にも対応しております。カウンセラーとの面談等を希望される場合は、下記の連絡先にご連絡ください。

相談を希望される場合の連絡先

Tel 076-493-0533 (保健室)

メール gaku-soudan@nc-toyama.ac.jp

相談室のスケジュール

月～金曜：15:30～17:00 相談室員(各学科教員)

火・水曜：13:00～17:00 カウンセラー(臨床心理士)

場所：相談室(学務課から専攻科棟の間)

備考：試験期間中、長期休業期間中は閉室します

射水キャンパス

学生相談室射水キャンパス室長 早勢 欣和

「学生相談室」は、学生のみなさんが生き生きと充実した学生生活を送れるようサポートさせていただくことを目的に設置されています。高専生活は思春期とも重なる5年間、商船学科は5年半の長期間ですが、誰もが多くの悩みを抱え、自分と向き合いながら社会に巣立つための準備期間ともなります。学校生活でも、様々な悩みや迷いに遭遇するかもしれませんが、問題を一人で抱え込まないようにと思います。一つの手段として、また何となくでもよいので、相談室にも気軽に訪ねて欲しいと思います。学生相談室は、教員から選出された室長1名、相談員4名及び看護師で構成され、週2回、臨床心理士資格を持つカウンセラーも来校されます。なお、保護者の方の学生に関する相談も受けています。

相談を希望される場合の連絡先

Tel 0766-86-5140 (保健室)

メール soudan@nc-toyama.ac.jp (相談室長と看護師宛)

相談室のスケジュール

月曜：14:30～17:30 カウンセラー(臨床心理士)

水曜：13:30～17:30 カウンセラー(臨床心理士)

火・木・金曜：15:30～17:00 相談室員(教員)

場所：学生相談室(保健室隣)

備考：試験期間中、長期休業中も事前連絡いただければ対応させていただきます

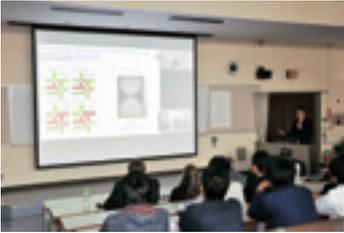


Toyama Kosen News & Topics

ニュース&トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。
(http://www.nc-toyama.ac.jp/)

海外協定校7機関を招いて 記念事業を開催



10月5日～8日、本校創立50周年・創基110周年を記念して、海外協定校との国際交流事業を開催いたしました。今回は、中国の東北大学、英国・北アイルランドのサウス・イースタン地区連合カレッジ(SERC)、アメリカ合衆国・ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ(KCC)、タイのキングモンクット工科大学ラカパン校(KMITL)、ハンガリーからは、ハンガリー科学アカデミー応用物理・材料科学研究所(MFA)、バズマニー大学、ブダペスト工科経済大学、計7機関のみなさまにご参加いただきました。

10月7日には、本科5年生と専攻科学生を対象に、国際セミナーを開催。KCCのブ

ライアン・ヤマモト自然科学部長、バズマニー大学のマイクロース・ジェンジー情報・生体工学部准教授、ブダペスト工科経済大学のハッサン・チャラフ自動制御・応用情報学科長からご講演をいただき、2名の専攻科学生が発表を行いました。

10月8日には、本校技術振興会会員企業のみなさまを招いて、産学連携に関する国際セミナーが開催されました。東北大学(仙台市)の佐藤準特任准教授、SERCのジャニス・クック産学連携部長、MFAのイストバン・バルソニー所長、バズマニー大学のピーター・ソルガイ情報・生体工学部長、本校西田均副校長の順に講演を行い、最後にパネルディスカッションを実施し、討議を深めました。

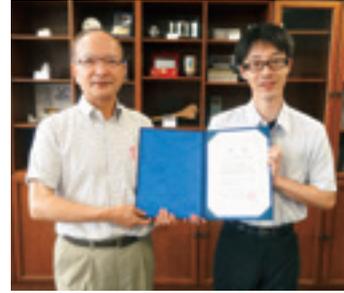
MFA (ハンガリー) から 石原校長に MFA賞と記念メダルを贈呈



10月8日に、本校が学術協定を締結しているハンガリー科学アカデミー応用物理・材料科学研究所(MFA)より、石原校長に対し、両機関の連携推進に対する功績を賞

し、MFA賞と記念メダルが贈呈されました。本校の創立50周年・創基110周年記念式典等のためにMFAのイストバン・バルソニー所長を招へいたした機会に贈呈されたものです。MFAとはこれまでも研究員、教員の派遣などの研究面で交流を行ってきており、今後も積極的に連携を進めていく予定です。

間中准教授が 中部分析化学奨励賞を受賞



物質化学工学科・間中淳准教授が、日本分析化学会中部支部から中部分析化学奨励賞を受賞しました。この賞は、分析化学に関する独創的な研究を発表し、将来の発展を期待し得る中部支部の若手研究者に授与されるものです。間中准教授は、「マイクロプレートを用いた微量体積試料の高性能簡易計測法の創出」についての研究が評価され、受賞となったものです。8月31日～9月1日にかけて静岡で開催された第34回分析化学中部夏季セミナーにおいて、表彰式と受賞者による講演が行われました。

富山高等専門学校

平成28年度入試情報

学科生募集

中学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者などを対象として、次の6学科に平成28年4月から学生を受け入れます。入学者の選抜は、推薦によるものと学力検査によるものの2つの方法で行われます。なお、推薦選抜の募集人員は各学科とも入学定員の50%以内とします。

募集人数

本郷キャンパス

機械システム工学科	入学定員	40名
電気制御システム工学科	入学定員	40名
物質化学工学科	入学定員	40名

射水キャンパス

電子情報工学科	入学定員	40名
国際ビジネス学科	入学定員	40名
商船学科	入学定員	40名
航海コース(20名)・機関コース(20名)		

選抜方法

推薦による
選抜

平成28年1月24日(日)
面接 定員の50%以内

学力検査による
選抜

平成28年2月21日(日)
理科、英語、数学、国語、社会
(マークシート式)

なお、入試関係情報の詳細については、学生募集要項または下記でご確認ください。

申込・
お問い合わせ

本校HP入試情報

http://www.nc-toyama.ac.jp/

本郷キャンパス学務課 入学試験担当

電話(076)493-5498

射水キャンパス学生課 入学試験担当

電話(0766)86-5145

問い合わせ先	本郷キャンパス：〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地 射水キャンパス：〒933-0293 富山県射水市海老江総合1番2	TEL 076-493-5402 TEL 0766-86-5100	http://www.nc-toyama.ac.jp/
--------	---	--------------------------------------	-----------------------------

高専通信 15号編集担当 横田数弘(編集長) 河合孝恵 長谷川博 藤崎明広

